

新型コロナウイルスクラスター発生に係る本院の救護活動について

大阪大学医学部附属病院長

この度の新型コロナウイルス感染症を発症された方々に、心からお見舞い申し上げます。
大阪大学医学部附属病院といたしましては、皆様に1日も早く平穏な日常生活を取り戻していただけるよう少しでもお役に立てればという気持ちを込めて、下記の救護活動を行っております。

1. 令和2年10月28日（水）午後1時30分から大阪府に要請を受け、医師1名、業務調整員1名のDMATをクラスター発生病院へ派遣
患者さんの状況確認、ゾーニング、感染防護対策に従事
2. 令和2年10月29日（木）午前10時から医師1名、業務調整員1名、救急救命士1名、感染制御部より医師1名、看護師1名を派遣
患者さんの搬送調整、手指衛生手技・感染防御装備着脱指導、ゾーニング再調査に従事
3. 令和2年10月30日（金）午前9時40分から医師1名、看護師1名、業務調整員1名、救急救命士1名を派遣
患者さんの状況確認、転院調整に従事
4. 令和2年11月 2日（月）午前10時から医師1名、看護師1名、業務調整員1名、救急救命士1名を派遣
患者さんの状況確認、転院調整に従事
午後2時30分総ての任務を終えて無事帰院

（令和2年11月2日現在）